

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和5年度・第7回）議事概要

日 時 令和6年（2024年）1月10日（水）14：00～16：00

場 所 中央公民館 203・204学習室

出席者

<まちづくり協議会>

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長	●	
宝塚市光明地域まちづくり協議会	小林 敏明副会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	
まちづくり協議会コミュニティ末広	豊田 茂男代表	●	
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長	●	
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会	押条 雅英代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	岡田 英里副会長		
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長		
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表	●	
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	安達 みづほ代表	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	前田 幸夫会長	●	
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長	●	

<その他>

宝塚市 山崎市長

市民交流部 加藤部長

市民交流部きずなづくり室 浅井室長

市民協働推進課 新城課長他

都市計画課 谷口課長、片岡係長
宝塚NPOセンター 平岩氏
宝塚市社会福祉協議会 前菌課長
傍聴者 なし

議事概要（要旨）

1. 市長挨拶（山崎晴恵市長）

山崎市長より、新春挨拶が行われた。

2. 官民連携の取り組みについて（都市計画課）

都市計画課より、標記の案について、配布資料に基づいて説明があり、以下の通り、質疑応答があった。

ア これまでの記録はHPに掲載されているのか。また、傍聴は可能か。

イ （市）都市計画課のページに掲載している。ワークショップも発表会も傍聴は可能。

ウ この一か所だけか。今後はどうするのか。

エ （市）まずは、関係者が多いところということで進めている。市として動き始めたところで、今後についてまだ明確にお伝えできないことはないが、小さなエリアごとにやっていきたいと考えている。順番等の詳細は未定。今回の取り組みが失敗となる可能性もあるし、成功しても全く同じかたちで他の地域にもそのまま適用できるわけではないと思う。

オ 地域ごとに状況が異なるが、こういった官民連携の取り組みはどこの地域も必要になってくると思う。今回の宝塚駅周辺の取り組みを成功させて宝塚市全体に広げてほしいと思う。それが今回紹介された意義だと思う。

カ （市）今回成功して、是非うちでもやりたいという地域があれば、当然話をお伺いする。今回も、市の取り組みを説明し、協力したいという方に何かしら力をお借りするというかたちで進めている。正直、職員はほぼ2人で、最初から全市を行うということは難しいため、基本的には地域の方が動き始めたところに入っていかたち。今回のワークショップもほとんど予算がない中で、意見交換をして、足りない部分に色んな人の協力が入って進めている。

キ 逆に、地域が盛り上がりればサポートをしてもらえると。

ク （市）はい。

ケ スライド p.11 の3月23日のプロジェクト発表会の部分に記載されている参加企業は既に決まっているか。招待者は白紙ということか。

コ （市）まだ決まっていない。開催時間について意見をいただいていることもあり、まだ詳細が確定していないため、周知を行って、よろしければご参加くださいとだ

け声掛けをしている。

サ 官民ということで、民の協力もたくさんあるということか。企業というのは地域ということか。

シ (市) 今回は市から協力を依頼しているわけではない。企業（NPO、金融機関等も含め）や地域の線引きはしていない。

ス 都市計画審議会には、民間が入っていないのか。

セ (市) 都市計画審議会は、市全体の大きな方針を決めるところであり、専門の学識者等が入っている。今回は、特定の地域に関係するなるべく小さく声を掛けて進んでいる。まだ正式な会議の体制が立ち上がっておらず、まずはやって、効果を検証して議論の場所ができればと思っている。

ソ まちづくりを進めるためにそれぞれの地域の人が考えて、提案したら、官も一緒にやりますよということか。

タ (市) 提案ではなく、自分たちがやりますよということに対して一緒に取り組むということ。

チ コミュニティでやる、地区でやる等の範囲は地域で決めるということか。

ツ (市) 今回の中心市街地は、中心と思われる部分をぼやっと囲ったが、国からは広いと言われており、かなりピンポイントな部分になってくると思う。

テ 例えば、まち協の中心地、3つのまち協の中心地であれば3つのまち協で調整したらいいということか。

ト (市) ただ、公共空間の活用という点で、一定、駅のロータリー等がある場所という風になってくると思う。

ナ まちづくり（団体）というものをつくれれば、市は協力（予算付ける等）してくれるのか。

ニ (市) 基本的に、国が提唱している官民連携まちづくりは、公共空間の規制緩和をして、まちづくり団体が公共空間を使って、ある程度自由にお金を稼いでいいということ。大きな事業は行政がするが、基本的に小さな取り組みは地域のまちづくり企業が公共空間を使って、まちに還元させるやり方。

ヌ 収益を得るといったことは地域に任せるということで、市や国がお金を出していくということではないということか。

ネ (市) 正式なまちづくり会社は直接国から補助金をとれる。

ノ まちづくり会社とは法人格を持った団体か。単なるイベントやるぞというものではないのか。

ハ (市) はい。法律上は都市再生法人という法人格を市が指定することでなれる法人である。地域でそういった人が立ち上がってくれば良いと思っている。

ヒ 行政が絵を描いてから住民が議論するという従来の都市再開発と今回の官民連携の取り組みは全く違うものか。

- フ (市) 真逆と思ってよい。宝塚駅前ロータリー等が一定できている、それを使っていく中で、不具合なところだけ直していきましょうというかたち。人中心で居心地がよくなるようにリニューアルしていこう、使ってみないと分からないよねという考え方。
- ヘ 当まち協のエリア内にある駅前には重要な起点であるにもかかわらず、取り残されている。また、エリア内に都市計画公園に残ってしまっている公園もある。そのあたりと再開発とどうしようか考えながら聞いていた。
- ホ (市) これまでは、市が施設を建てて、後は使い方を考えてくださいとしていたが、これからは皆さんがどう使いたいかによってまちのあり方を考えようという風になった。最終的に使う人が増えれば、ニーズに合わせた大きな事業になっていった事例もある。
- マ (市) 都市計画課にいるため、ご意見あればいつでもお待ちしております。

3. まちづくり協議会補助金

(1) 実績報告の手続き改正について

市民協働推進課より、配布資料に基づき、会計担当者会で提示した内容から大きな修正はない旨、報告があった後、以下の通り意見があった。なお、最終版の帳簿については、会計担当者会出席者へもメールで送付した上、正式な精算報告の依頼は2月末に代表者へ送付予定と伝えられた。

ア 会計担当者は以前の手続きより良くなったと言っていた。

4. 地域ごとのまちづくり計画

(1) 協働の取組推進担当次長の地域への訪問(案)について

市民協働推進課より、配布資料に基づき、説明があった。

(2) まちづくり計画 令和5年度進捗確認の実施について

市民協働推進課より、配布資料に基づき、進捗確認に向けた話し合いへの担当次長の出席の日程調整、作成した進捗確認シートの総会での共有、市民協働推進課への提出(令和6年6月14日(金)㍻)の依頼があった。

(3) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

宝塚市良元地区まちづくり協議会、宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会、宝塚小学校区まちづくり協議会、安倉地区まちづくり協議会の対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった。

【良元】

- ア 荒地西山線の通学路について、旧県道に信号を移し、下道の横断歩道を廃止するとなっているが、住民の生活道路としてそのまま横断歩道を残せないのかということ、小林駅から下りた三叉路の歩道が取れない箇所へ対する対応等、道路関係で子ども、高齢者の安全確保に向けて進めている。

【未成】

- ア 小林・亀井浄水場の跡地について、現在調査等を行っているが、今後どう利用するかが決まっていない状態である。今回、今後市の公共施設をどうしていくのかを長い目線で考えていかなければ負の遺産になっていくと思う。

【宝塚】

- ア 御殿山筋及び宝塚駅付近の渋滞解消が大きな課題であり、この渋滞に関して市はどのように分析しているのかを説明いただく機会を設ける予定である(道路政策課/出前講座)。この問題が解決しない場合には、先のJ R宝塚駅地下化、駅周辺再開発の提案にまで及ぶことになるが、まずは喫緊の課題である渋滞解消をテーマに取り組んでいきたい。
- イ 現在農業用ため池のある場所を、学校や企業を誘致し、利活用することで若い人口が増加し、地域が活性化するのではないかと考えている。第7次総合計画に向けて、市と共に考えていきたい。

【安倉】

- ア 総合福祉センター北側道路が狭く、どのような方も安全に利用できる歩道にしたいと思っているが、拡幅するためには様々な問題がある。今後小浜・美座の両コミュニティとも協議してしていきたい。
- イ 安倉地域の公園にある高木の剪定をし、周囲から公園の中が見やすく、防犯の面からも安心して利用できるような『見える化公園』を目指し、公園づくりに取り組んでいる。
- ウ バスの増便や、バス停位置の移設など、バス会社に話を持ち掛けたが、地元負担であればできるがという回答しか得られなかった。今後は尼宝線については県にも話し合いをもっていただき、対処の仕方を考えていきたい。

【意見交換】

- ア 亀井と小林の広域には埋蔵物があり、撤去するには数十億かかる。ただ埋蔵物の撤去をしないと売れない為、現在それらの場所は使われていない資産(土地)となっている。今後どうするのか。
- イ 埋蔵物がある限り、民間企業はどこも買わない。現状としては、埋蔵物はそのままだに、レンタルパーキングなどの賃貸での利活用をするしかないのではと思う。

5. 地域活動について

(1) 魅力的・特徴的なまち協活動（多様な時代の参加につながった事例、負担軽減・事務効率化を図った事例等）についての紹介・質疑応答（長尾）

【コミュニティ長尾】

(発表)

様々な災害が予想されるいま、違う環境にある組織や人達が地域活動を共有し、顔の見える関係を築くことで、災害時などだけでなく、福祉においても「対応力」を高め、「地域の備え」につながることを目的とし、活動している。

(主幹団体：①宝塚市第5地区自治会連合会 ②長尾地区まちづくり協議会 ③宝塚市第5地区民生児童委員協議会 ④社会福祉法人 ⑤介護老人保健施設 ⑥相談支援センター)

長尾地区では、5つの「る」プロジェクトを掲げ、地域の課題を見つけ、考え、解決するようにしている。(①見守る、②見つける、③集まる、④学べる、⑤助かる)活動の際には、5つの「る」が描かれた、共通のナップサックをぶらさげて、活動をしている。

(質疑応答)

ア 様々な催しは、部会ごとに行っているのか、それともコミュニティが一括して指令して行っているのか。

イ (長尾)最初に催しを企画したまちづくり協議会の部会や、プロジェクト主観団体が中心となり、行っている。

(2) (1)の他、地域活動についての情報共有・意見交換

特になし。

6. 市民協働推進課からのお知らせ

市民協働推進課より、以下(1)～(2)について、周知を行った。また、(1)については以下の通り、質疑応答があった。

(1) 市制 70 周年記念 市民活動支援補助金について

(質疑応答)

ア 今回の 70 周年記念市民活動支援補助金については、『お金を出すから祝ってくれ』という風を感じられたり、祝ってくれた 70 団体に対し表彰したりと、これまでに行ってきた周年記念行事と比べると、少し違和感を感じる。これが市の 70 周年記念事業だとするといかがなものかと思う。

『誰が考え、何の目的で行い、成果は何を期待するのか』を聞きたい。

イ (市) 市民活動支援補助金が 70 周年記念事業の全てではない。70 周年記念事業基本方針にある実施方針 3 の(2)に従い、市長も含め協議を行った上で実

施することとなった。表彰については、70 団体が一堂に集まり表彰を受けることによって、実施いただいた大小様々な 70 の活動団体に対し、市として目を向けていることを表すとともに、他の団体が市内でどのような活動をしているのかを知るきっかけになればという思いから行う。

- (2) 市内で子ども食堂を運営する団体に支援金を臨時的に交付します（子ども家庭支援センター）

7. 宝塚 NPO センターからのお知らせ

宝塚 NPO センターより、以下(1)～(2)について、周知があった。

また、まちづくり協議会のポータルサイトがサーバー移行のためログイン不可の連絡があった。

- (1) ワークショップの開催について
- (2) まちづくり協議会ポータルサイトのサーバー移行によるログイン不可について
(2月11日(日)23時～2月12日(月)9時)

8. 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

宝塚市社会福祉協議会より、以下(1)～(4)について、周知があった。

また、(4)については下記のとおり、開催に関する周知があった。

- (1) 令和6年度赤い羽根共同募金運動公募配分団体募集について
- (2) 第5回見守り活動交流会について
- (3) 「みんなで、ええまちにしませんか？」セミナーについて
- (4) 第16回全国校区・小地域福祉活動サミット at オンライン
(※開催について)事務局が能登半島地震の災害支援のため、開催ができない可能性が高い。

9. その他

特になし。

10. 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の開催予定について周知があった。